

マイマイガの大量発生



2014年8月4日（月）、旅行先の高速道路のサービスエリア（岩手県内）は、異様な雰囲気になってた。建物の壁に**白い泥のような斑点**がたくさん付いている。よく見ると、蛾が産み付けた**卵塊**を人間が一つ一つ剥がした跡だった。

この蛾の正体は、「**マイマイガ**」というドクガ科の「蛾」の一種である。日本では北海道から沖縄県まで広く分布し、**7月下旬から8月上旬**にかけて成虫が大発生することがある。今年も、日本各地で大発生し、市民の生活などに深刻な影響を及ぼしている。ネットで検索してみると、2014年7月30日放送のFNNニュースで、マイマイガの被害について紹介していた。

長野県病害虫防除所の吉沢しおりさんは「**10年前後ぐらいで大発生するサイクル**があるといわれている。1年で終わる場合もあるが、場合によっては2～3年、そういうサイクルになっている」と話していた。大発生した後、幼虫時代に流行病がまん延することで、2～3年で終息するそうである。ただ、**大発生するメカニズム**はまだ分かっていないようだ。

今回、調べてみて、マイマイガは本当にやっかいな蛾だということがよく分かった。栃木県では、マイマイガの大発生の話はまだ聞いたことがないが、発生して欲しくないと心から思った。



「全国各地でマイマイガ大量発生 世界遺産にも影響」（14/07/30）FNNnewsCH より

